

みどり市温泉施設整備審議会 第6回会議 議事録

1. 開催日時 令和3年8月25日(水)午前10時から午前10時50分
2. 開催方法 リモート開催

3. 出席者

- ①委員 清水義彦委員(会長)、田中光子委員、小松俊二委員、石田義彦委員(副会長)、松嶋一郎委員、高橋健夫委員、深沢隆之委員、正田昌之委員
- ②執行機関 (事務局) 社会福祉課 課長補佐 新井さゆり、

4. 会議の概要

- ①副会長の選出では、委員より事務局案の提出が求められ、副会長に社会福祉協議会の石田会長との案が提出され、委員全員の挙手により承認された。
- ③事務局から「みどり市温泉施設整備事業基本計画策定支援業務委託公募型プロポーザル事業者選考結果」について説明を行った。
- ④議事として「みどり市温泉施設整備事業基本計画策定について「現状と課題の整理」を事業者から説明を行った。

5. 出席者の発言の内容(要旨)

①会長あいさつ

本日はご苦労さまです。このようなWeb会議ですと、なかなかみなさんと、対面で行き会うことが出来なくて、意見をそれぞれ言いたいことが通じないかもしれませんが、ゆっくりとはっきりと進めて行きたいと思います。本日もよろしくお願ひします。

②報告

- ・事務局から、資料に基づきみどり市温泉施設整備事業基本計画策定支援業務委託公募型プロポーザル事業者選考結果について報告

【会長】 ただいまの報告について何かご質問ございますでしょうか。正式な手続きを踏んで、プロポーザルによる選定で事業者を選んだことになりましたが、どうでしょうか。

特になければ、次の議題に進んでよろしいでしょうか。

質問なし。

③議題

- ・(株)桂設計から、みどり市温泉施設整備事業基本計画策定について「現状と課題の整理」について説明

【会長】 ご説明ありがとうございました。ただいまの説明で、様々な角度からの質問がありましたらお願いします。

【小松委員(区長会副会長)】 こうゆう施設は最初はいいのですが、だんだんすたれてし

まい、大変だと思いますが、温浴施設の一日あたりの重油など各項目毎の維持費を考えてほしい。今回のようにコロナに対してどのように対応していくのか。

【事務局】 重油ということですが今後基本計画を作っていく中で検討していくことだと思っております。どのようにしてお湯の温度を保つのかということも今後検討していかなければならないと思っています。コロナ対策ですが、かたくりの湯も緊急事態宣言が発令されておりますので、閉館している状況です。今後コロナ対応についても検討していかなければならない課題です。

【会長】 よろしいでしょうか。経済的な話も昨年PFIで成り立つか成り立たないかだいたいこの検討がなされていて、これくらいの温泉施設に投資して、だいたいの規模で1回あたりどのくらいの入浴料でとかやっていくと思いますが、これから(株)桂設計さんのほうもより具体的にやられていくと思います。みどり市の温泉施設は現状使われている状況とともに、コロナみたいなのが起こっているときは駄目だけど、コロナを通じて新しい生活スタイルを結構、地域思考はあがってきていると思います。温泉施設だけではなく、みどり市に地域外の人たちが集まる仕組み、仕掛けを考えて今まで以上に、集客を見込まないと、投資がかかりますので、基本計画策定で考えながらみなさんの意見を聞いて市にも考えてもらう形ではないかなと思っています。新しいものを作っていくとなると、お金がかかるのは確か、考えてみると、みどり市は道の駅は持っていますか。周辺をみるともう少し跡地とか、使っていくと温泉施設が核になってくるのではないかなと思っています。みどり市外から来る人々にとって、魅力を高める核になるのではないかな。みなさんの意見を聞きながら、これから具体的な話になってくると思います。

一部議事録省略

【正田委員（都市建設部長）】 みどり市の道の駅は東町の富弘美術館の横に道の駅に位置付けられている形で物産販売コーナーがあります。みどり市の南部にも道の駅があるといいのですが、交通量や集客の関係など考えていかななくてはいけない。

【松嶋委員（観光物産協会会長）】 道の駅の件ですが、富弘美術館のところにもあるが、もう一つこの町に作る事ができるので笠懸地域につくりたい、あのエリアに物産協会としても作りたいという希望がありました。駐車場とトイレは国土交通省でつくってもらえることを聞きました。そこに私たちが複合施設をつくれればと考えますが、国土交通省と連携して、より広い、費用もかからない施設ができるかなと思いますが、逆に間に合わないかなと思います。桂設計が言っていた立地にふさわしい施設、時代に添った施設、特徴づけた施設を作って行けたら他に負けないエリアであり施設が出来ると思いますが。観光物産協会の立場から言わせてもらいました。

【会長】 ありがとうございます。温泉施設の地域にそれが出来たら、温泉施設と一緒に

進めると温泉施設の進行はむずがしいが広域的な広がり、笠懸地域に出来たら温泉施設は核となることは確かなので、地域の広がりも進めていければと思います。大雨がふると野菜不足になるし、そこで道の駅があれば、温泉とセットで買いにこられればと夢を描いてしまいます。今後しっかりと基本計画について、審議会の中でみなさんの意見を聞ければと思います。

一部議事録省略

【石田委員（社会福祉協議会会長）】 社会福祉協議会の立場から言えば、温泉施設はお年寄り、障がいのある方が主に使う、一般の方にたくさん使っていただくのは最もですが、交通のアクセスはとても大事で、いろんな観光施設と連携をとりながら、利用が増えるような対策が必要。市内全体を見渡した連携が必要だと思います。

【会長】 (株)桂設計さんに質問します。抜きに出ているところは他と何がちがうのか教えてほしい。

【(株)桂設計】 プロポーザルに応募させていただいた時に周辺の似たような施設を調査しました。それぞれ特徴ある施設ですが、賑わっている施設は大広間があるだけでなく個人の利用もできるような施設、大きい空間だけでなく家族で利用できるような空間、検討の中で家族風呂がありますが、お風呂から出た後、どこで休むか、世代という子育て世代というのに関係してきます。幅広い世代の利用ができるといいと思います。主には高齢者、障がい者になるかもしれませんが、広い世代、いろんな方に幅広く、いろんな世代に使っていただく施設にすることが必要だと思います。

今回は、もう少し調査をさせていただき、ここが賑わっているとかお伝えをしたいと思います。

【会長】 コロナ対策というと家族風呂が大切かなと思うし、みどり市の農産物を売するようなオープンスペースの確保、自由に使ってもらえるような広場、若者が使ったり、コンセプトを桂設計さんに作ってもらえたらと思います。

【深沢委員（産業観光部長）】 温泉施設を考える時に、公の施設なので、市民の福祉の増進に資するような施設でないと駄目だと思います。どのような状態の施設を目指しているのか柱として共有していくのか、例えば市民の満足度が高い施設を重要視していくのか、どうゆう人を対象にターゲットをしばってやっていくのか、市外の人を取り込むようなところをつくっていくのか、まずは市民の満足度が高い施設でないと公の施設という役割を果たせないのではないかと、どうゆうところに重きをおいた中で施設づくりをしていくのか少し整理が必要かなと思います。いろんな集客を増やしていくとなると、制限なくいろんな機能を有していかななくてはならない。みどり市にあった施設としてどうゆうところが重要か、コンサルしていければと思いますので、よろしくお願いします。

【会長】 それではよろしいでしょうか。直近で9月17日に行うのでまた、その時にいろ

いろ話が出ると思います。

【事務局】 その他に移らせていただきます。何かございますでしょうか。

【正田委員（都市建設部長）】 先程、産業観光部長からも話が出たとおり、非常にコンセプトが大事になるかと思imasので、市民満足度にターゲットを置くべきだと思いますし、客をたくさん集めることになると、ベクトルが違う話になってしまうため、コンセプトの絞り込みが大変重要となってきます。意見です。

【会長】 事務局におかえしします。

【事務局】 それでは、第6回の会議を終わりにしたいと思います。次回は9月17日に行いたいと思いますので、みなさんよろしくお願いいいたします。